

平成27年度第1回帯広市地域公共交通活性化協議会 議事録

日 時：平成27年6月2日（火）午後4時00分～午後5時00分

場 所：帯広市役所10階第2会議室

出 欠：出席委員 13名、代理出席 3名、事務局 3名、欠席 2名

会議概要

1. 開会

（黒田会長）

本年の2月18日に開催した前回の会議では、交通政策基本法等、国の法改正の概要及び帯広市地域公共交通網形成計画を策定することについて協議し、策定に係る調査費用は、国土交通省の補助メニューを活用し、協議会として補助申請することを決定しました。

今回の会議では、補助申請の結果について事務局より報告するとともに、協議会としての収支予算書、調査業務の委託、今後のスケジュールについて協議します。

（森田事務局長）

本日の会議は16名の委員に出席いただき、2名の方から欠席の連絡を受けています。規約第6条第2項による過半数の出席があることから、会議が成立していることを報告致します。

2. 議事

（1）委員および会長の変更について

事務局より説明 資料2

（黒田会長）

事務局からの説明のとおり、交通政策基本法の施行をうけ、まちづくりの観点からの交通施策について、幅広い部局と連携した協議を行うために、委員の追加および会長を変更するものです。

ただ今の説明について、ご意見、ご質問等がありますか。

～ 意見なし ～

（黒田会長）

それでは、ただ今より中尾商工観光部長を本協議会の会長とし、議事の進行を交代致します。

（中尾会長）

議事進行前に、ひと言ご挨拶申し上げます。私も最近バスを利用する機会が増えましたが、乗ってみてわかる便利さがあるなど感じています。こうしたことを皆さ

んにも分かってもらうことも大切かと思っております。

先ほど協議会のパワーアップについて承認いただき、これからは幅広の視点で考えていかなければならない状況だと認識しております。

帯広市地域公共交通網形成計画を策定し実施につなげていくために、しっかりと協議させていただきたいと思っておりますので、どうぞよろしく申し上げます。

(2) 地域公共交通確保維持改善事業費補助金の交付決定について

事務局より説明 資料3～6

(中尾会長)

補助申請額に対して交付額が4割程度となったことをうけて、どうしていくかという論点での説明でした。基本的には項目は大きく変えずに経費を削減する中で、目的を達成したいという考え方でした。

今の説明について、皆様からご質問、ご意見等ありますでしょうか。

(十勝バス 長澤委員)

当初予定していたJRからの乗継調査が全くなくなって、都市間バスから路線バスへの調査だけということでした。都市間バスのお客様はJRさんと比べると路線バスに乗り継ぐ方の比率が高いかと思えます。調査費用のことはありますが、やはりJRからの乗継実態も、なんとか最小限のお金で調べる方法はないでしょうか。送客量はJRさんが圧倒的に多いので、調査対象にできないかなあという思いがあります。

(北海道拓殖バス 小森委員)

アンケート調査の中で、調査項目に加えるというのも一つの方法では。精度としては落ちるかもしれませんが。

(十勝バス 長澤委員)

JRのお客さんを全く対象外にするのではなく、なんらかの方法でJR乗継のお客様の動向を調べる必要があるのでは。

(中尾会長)

事務局として、そうした可能性について検討の余地はありますか。

(事務局)

アンケート調査については、路線バス利用者やバスターミナル利用者等、対象者をしぼった複数の種類の調査を行いたいと考えています。JR乗継についてもアンケートの中で把握できるよう検討していきたいと思っております。

(中尾会長)

事務局から説明のとおり、アンケート調査の中で把握するよう検討するという
ことでよろしいでしょうか。

(十勝バス 長澤委員)

もう1点、OD調査については全路線から4路線抽出へ変更ということで、規模
を縮小するのはやむを得ないかと思えます。ただ、路線によっては便数が多いもの
もあるので、便数を絞って路線数を増やす等、4路線に限定するのではなく臨機応
変に考えていきたい。路線を限定すると地域エリアも限定されてしまうので、より
よいデータを取るためにはどういったエリア・時間帯・路線がいいのか、協議会
の中で協議させていただけるといいかなと思えます。

(中尾会長)

事務局としてはどうですか。

(事務局)

路線の抽出方法については、バス事業者さんを始めとした皆さんと相談させてい
ただいて選定しようと考えておりましたし、ご意見を踏まえて路線を限定しない調
査方法について検討し、ご相談させていただきたいと思えます。

(中尾会長)

4路線は目安ということで捉えていただくということで、皆様もよろしいでしょ
うか。

(3) 地域公共交通網形成計画策定調査業務の委託について

(事務局)

公共交通の調査については、専門性の高いものとなることから、先ほど説明しまし
た調査事業の実施にあたっては、優れた調査スキルを有する民間事業者へ委託したい
と考えております。

事業者の選定にあたっては、3社から見積りを徴集し決定したいと考えております。

(中尾会長)

説明のありました、委託についての考え方についてですが、皆様からご意見等あ
りますでしょうか。

～ 意見なし ～

(中尾会長)

それでは、事業者の選定については事務局で進めていきたいと思えます。

- (4) 収支予算書(案)について
- (5) 今後のスケジュールについて

事務局より説明 資料7～8

(中尾会長)

皆様から何かご意見等ございますか。

(中尾会長)

私から1点。今後のスケジュールですが、OD調査の件については事前に相談させていただくという話もありました。第2回の会議では調査内容の最終確認になるかと思いますので、その前に一定程度やりとりをするという理解でよろしいでしょうか。

(事務局)

はい。

(中尾会長)

他にご意見等はございますか。

～ 意見なし ～

(中尾会長)

議事は以上ですが、全体を通してご意見等はございますか。

(帯広運輸支局 頼本委員)

今回の交付決定に関しては、交付率が40%弱という事で、全国の申請状況がかなり多かったことと、コミュニティバスのフィーダー系統の申請件数が多かった事もあり、こうした全体の中で帯広市さんの交付額がかなり下がってしまったことはご理解いただきたいと思えます。

帯広市さんを始め、今全国で形成計画を策定中ですが、既に形成計画が出来ている所が31件あると聞いています。国の計画では5年間で100件を目標にしていますが、全国で計画策定に向けた動きが進んでいます。

道内ではまだ計画を策定した自治体はありませんが、今動きがあるのが函館市さん、千歳市さん、そして帯広市さんです。国としても、今後他の地域でも計画策定していくにあたって、情報の共有をしていきたいと考えており、帯広市さんのケースも先行事例として、全道、全国に発信していきたいと考えています。

来年には、学識経験者を含む第三者機関による事後評価を予定しており、来年1月に書面による一次評価を行い、2月に行う二次評価では協議会の代表の方に札幌の会議に出させていただき、代表的な事例や進捗状況を発表していただく予定をしています。帯広市さんも今回は大規模な調査を行いますので、是非ご足労いた

だいて発表していただきたいと思っていますので、その時はよろしくお願ひします。

3. 閉会

(中尾会長)

これで平成27年度第1回帯広市地域公共交通活性化協議会を終了させていただきます。大変お疲れ様でした。